

『#崇拜型病み系アイドル翠くん』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査

■アンケート調査概要

調査目的	#崇拜型病み系アイドル翠くんの漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	#崇拜型病み系アイドル翠くんを読んだことのある20代～50代の男女18名
調査期間	2025年6月20日～2025年6月21日 2025年8月3日～2025年8月4日 2025年10月5日～2025年10月6日 2026年1月5日～2026年1月6日 2026年4月20日～2026年4月21日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	ランサーズ
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/suhaiगतayamikeiaidoru/

■アンケート項目

Q1:年代と性別を教えてください。

Q2:#崇拜型病み系アイドル翠くんを実際に読んだ評価を5段階で教えてください。

Q3:#崇拜型病み系アイドル翠くんを実際に読んだ感想を教えてください。

Q1:年代と性別を教えてください。

10代男性	0人
10代女性	0人
20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	7人
30代女性	2人
40代男性	1人
40代女性	7人
50代男性	1人

50代女性

0人

Q2: #崇拝型病み系アイドル翠くんを実際に読んだ評価を5段階で教えてください。

～～作品の5段階評価について～～

★★★★★(とても面白かった): 絵・物語・キャラに魅力を感じた。続きがあればぜひ読みたい

★★★★(面白かった): 漫画の内容で面白かったり、満足できる要素が一つでもあった。

★★★(普通): 面白いとも面白くないとも言えない。

★★(面白くなかった): あまり好きではない描写や要素があった。

★(全く面白くなかった): 読んでいて不快・退屈だった。

★★★★★★	6人
★★★★★	9人
★★★★	3人
★★★	0人
★★	0人
★	0人

Q3: #崇拝型病み系アイドル翠くんを実際に読んだ感想を教えてください。

国民的アイドルのみどりくんと、はるかとは一緒に暮らしていましたが、そこには深い秘密がありました。学生の頃、転校生だったみどりくんは孤独でしたが、はるかが唯一の話し相手だったという回想があり、それ以来、神様として崇めていた意味が分かりました。みどりくんはアイドルになる以上に、はるかのことを強く思っており、ついにアイドルを辞める決心をした時は驚きました。闇に堕ちたみどりくんは、鼻血を出しながらも続ける狂気の表情に驚愕しました。

今をときめくアイドルが自分のことが大好きで、溺愛されていて...そんな都合の良い展開と思いきや、ちゃんと設定が練られています。どうしてみどり君がここまではるかちゃんを好きになったのかがしっかり背景が設定されているので、なるほどー！とすごくじっくり来ました。ストーリーも楽しめて最高です。

この作品の好きなところは、平凡に生きている主人公と有名なアイドルになった翠という全く住む世界の違う二人が交わっていくところです。主人公は変わった翠に対して複雑な感情を持っており、翠も主人公に対して執着心があるなど、二人の関係がわけありな感じなのでドキドキします。みんなから人気者の翠が、他の誰でもなく主人公に執着する理由もあとから判明して、二人の関係をさらに応援したくなりました。

実は大人気アイドルが小学校時代の幼なじみでずっと忘れずにいてくれたどころか自分に対して特別な思いを持っていてくれたなんて、夢のような設定ですね。とはいえ、相手は小学校時代はともかく今は輝いている。なのに自分は職にもつげずウダウダしていて、崇め奉られてうれしいどころかむしろ嫌味かって言いたくなるかも。

アイドルと実は同級生だったって設定が面白いなと思いました。一方は大成功しているのを見せられると、へこんじゃいますね。でもそれでも熱い思いは心を溶かす。少しずつ昔の彼に戻ってきてよかったなと思いました。が、何しろ相手はアイドルです。世間からの目は怖い。

この作品のメインキャラクターである翠くんは、いかにも女慣れしてそうなイケメンでありながらも、主人公との約束をずっと覚えているという一途な部分があってギャップ萌えました。しかし物語が進むにつれて、一途どころではなく、重すぎる愛を抱えていたことがわかって、そこからの展開もどんどん面白くなっていきます。メンヘラ系男子が好きな人におすすめです。

たとえ幼いころに引っ込み思案でも、人は変わることができるのですね。人気アイドルにまで上り詰めるってすごいです。ただそのこともあって久しぶりに再会できた相手との関係はぎくしゃく。でもようやく恩返しができてよかった。と思ったら世間にさらされバッシングされて。二転三転のストーリーが面白い。アイドルってプライベートもなく大変です。

なぜあそこまで激しく責め立てるのかなと少し疑問に感じましたが、最後のページを読んで納得できました。まさかそんな約束をしているとは。神様を逃さないように決意する翠の表情もいいですね。あんなふうにあざされてすごく羨ましいですが、アイドルを辞めることになりそうですし、二人のその後が気になります。続編はないのでしょうか？

続きが気になる！結構大ボリュームだと思いましたが、続きが気になる終わり方でした。アイドルやめてどうするのか、その後二人はどんな関係性になったのか、アイドルをやめても有名だからプライベートはないのか、など色々気になることが多すぎます！

国民系アイドルの西園寺くんと深い関係になっているけど、病み要素が強めで、行先の不穏な空気感が何とも言えない作品の雰囲気とも繋がっています。内容的には、主人公は翻弄されっぱなし。しかも、強い立場ではないので受け入れるしかない。でも相手のことは好きでという流れが良かった。関西弁もキャラの濃さをアップしていていいですね。

今はキラキラのアイドルでも、だからって昔からキラキラとは限らないんですよ。むしろ、暗かった過去があるからこそはねのけて今を生きている場合も。そんな時代に恩を売っておけば、まさかのアイドルに崇拝されるという夢のような展開が待っているのか。うらやましいけど、確かに今の自分を思うと嫌になっちゃうかもしれない。

この作者の絵、結構好きです。そしてストーリーもまたおもしろかった。今や国民的アイドルになっている相手に愛されてといったシンデレラストーリーかと思いきや、ヒロインの方はキラキラどころか。だから卑屈になっていて、そんな彼女に対して「俺のところまで堕ちてこい」なんてセリフを言われて。展開がいい。構図もいい。

一人の男性にこれほどまでに執着してみたいですね。更には相手が誰もがうらやむ国民的アイドルなんて、すんごいシチュエーション。ぐっちゃぐちゃに愛されて墮とされて、女みょうりに尽きるでしょう。過去の約束をそれほどずっと思い続けるなんて、ストーカーっぽさもある。ヤンデレ好きにはたまらないのかもしれない。

たった数か月、子供時代に会っていただけ。でも彼にとってはとにかく大きな出来事だったわけですね。神とあがめられるって、ちょっと怖いかも。でもただ敬われるのではなく、自分と同じ高さまで堕ちてこいっていう愛のセリフにはきゅんとききました。もう一度会えた以上はもう放してもらえないことなんてできない。なかなかのヤンデレっぷりです。

「#崇拝型病み系アイドル翠くん」は、アイドルと平凡な女性・はるかの恋愛を描いている。一見すると、女性の理想の恋愛を描いているように思えるが、本作はひと味違う。実はアイドルのほうが、幼なじみであったはるかに執着していて、それが爆発したときにドSすぎる姿を見せるのだった。その肉食系の責めかたにはドキドキすること間違いなしだ。

キャラクターの群青劇に富んで非常に読んでいてワクワクして、次の展開がどうなるのかページをめくる手がやめられませんでした。また、絡みのシーンも画角が良くて読んでるうちに心の中で次はどんな絵になるのかなとドキドキしながら読んでいました。展開が気になるのと、あまり他の漫画では見ないストーリー構成で非常に満足しております。

翠が過剰なほどヒロインを崇めている姿は、少し違和感を覚えるほどでした。ですが、こんな人の顔を認識できないような経験はしたことがないので、生まれたときからこんな感じならそうなるのもしょうがないのじゃないかな。とりあえずハッピーエンドで良かった。

なかなか面白い設定です。執着系の漫画ですが、ヒロインのことを神様のように扱うのは珍しいですね。大人向けのシーンも良かったですが、もっとキャラの過去とかが知りたくなりました。番外編とか短編でいいので、キャラの設定が判明する話があっても面白そうです。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス
